

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤  
 (氏名) 古川原 英彦  
 TEL 0256-33-3987  
 配当支払開始予定日 平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,948	5.4	365	5.8	392	6.4	201	7.5
25年3月期第2四半期	20,817	4.6	345	△25.2	369	△26.3	187	△21.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 192百万円 (15.1%) 25年3月期第2四半期 167百万円 (△30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.43	—
25年3月期第2四半期	19.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	14,855	5,075	34.2	515.62
25年3月期	15,174	4,937	32.5	501.56

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,075百万円 25年3月期 4,937百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
26年3月期	—	5.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.2	1,000	36.3	1,050	35.2	550	181.2	55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,833,000 株	25年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	989,037 株	25年3月期	988,995 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,843,979 株	25年3月期2Q	9,844,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、平成26年4月からの消費税率の引き上げや、海外景気の減速懸念からも先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、業種・業態を越えた価格競争や、消費者の根強い節約志向に加え、円安などによる原材料価格の上昇もあり、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは当期より新たな組織体制でスタートし、お客様の多様なニーズに応えるべく商品や販売チャネルの開発など、更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は219億48百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は3億65百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は3億92百万円（前年同期比6.4%増）、四半期純利益は2億1百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

変更の詳細は、11ページの「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

#### (スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、産地直送ルートの開拓により生鮮食品の「鮮度」に重点を置き、商品力を向上させたこと、及び牛乳や豆腐などの日配品や業務用食品の品揃えを充実させ、リーズナブルな価格で販売することにより他店との差別化を図ってまいりました。その結果、既存店の売上高は前年に比べて概ね好調に推移いたしました。また、今年6月にオープンした「チャレンジャー海老ヶ瀬店」（新潟市東区）は計画を上回る来客数となっており、売上高も順調に推移しております。

「業務スーパー」部門につきましては、9月に宮城県で7店舗目となる「業務スーパー築館店」（宮城県栗原市）をオープンし、営業エリアの拡大を図ってまいりました。また、店舗ごとの立地環境やお客様のニーズに対応するために、青果や精肉等の生鮮食品の導入を推進し、品揃えの拡充により新たなお客様の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は154億64百万円（前年同期比6.0%増）、新店舗における出店費用によりセグメント利益は2億64百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

#### (弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）部門につきましては、ボリューム感のある商品の企画・販売に尽力し、また営業活動の強化により販売食数の増加を図っておりますが、市場全体の喫食者数が減少傾向であるなか、競合との顧客獲得も激化しており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」73,000食（前連結会計年度末比0.1%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億13百万円（前年同期比0.3%増）、原材料価格の上昇、製造労務費及び水道光熱費の増加によりセグメント利益は1億70百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

#### (食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、従来は個人宅向け商品を中心としていましたが、法人向けサービス「ヨシケイキッチン」を展開し、小規模な社会福祉施設向けの食材宅配を開始いたしました。また、折々の季節による特別販売企画や新規顧客獲得に向けたキャンペーンなどの販促活動は行っているものの、インターネットによる食材宅配サービスとの競合などから、既存の顧客数が減少傾向にあり、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24億38百万円（前年同期比1.7%減）、販売管理コストの抑制や業務の効率化に努めたものの、売上高の減少幅が大きかったことによりセグメント利益は1億32百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

(惣菜製造事業)

惣菜製造事業の「惣菜受託製造」部門につきましては、委託先からのアイテム数が増加したことや、季節ごとの企画商品の受注が相次いだことなどにより、売上高は順調に推移いたしました。なお、惣菜の受託製造業務は前第2四半期連結会計期間より開始しております。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）部門につきましては、代理店の新規契約獲得に向け営業を強化してまいりましたが、喫食者の昼食スタイルの多様化は依然として続いており、販売食数は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は5億43百万円（前年同期比94.2%増）、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント損失77百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、旅館「海風亭 寺泊 日本海」は個人消費の持ち直しの動きに伴い、宿泊単価は前年同期に比べ増加いたしました。宿泊者数及び日帰りの来客数は前年を下回る結果となりました。

また、今年4月にオープンした外食店舗（居酒屋「廻船問屋 日本海」）は、お客様の反応も好評であり、来客数は順調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億88百万円（前年同期比10.8%増）、旅館部門における外壁の修繕費、外食店舗の新規出店に伴う費用の発生などにより、セグメント損失は33百万円（前年同期はセグメント損失28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少し、148億55百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少し、97億80百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加し、50億75百万円となりました。この結果、自己資本比率は1.7ポイント上昇し、34.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成25年5月14日）の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,383,425	1,186,745
売掛金	1,042,491	889,826
商品	1,147,136	1,165,598
原材料	137,317	124,648
その他	531,696	509,061
貸倒引当金	△9,134	△8,071
流動資産合計	4,232,932	3,867,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,681,050	4,979,966
土地	3,072,264	3,071,214
その他(純額)	747,691	636,896
有形固定資産合計	8,501,006	8,688,077
無形固定資産		
のれん	4,421	2,567
その他	335,442	313,761
無形固定資産合計	339,863	316,328
投資その他の資産		
その他	2,121,887	2,004,509
貸倒引当金	△21,421	△20,755
投資その他の資産合計	2,100,466	1,983,754
固定資産合計	10,941,336	10,988,160
資産合計	15,174,269	14,855,969
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,413,478	2,232,814
短期借入金	1,228,985	1,636,355
未払法人税等	155,200	80,457
賞与引当金	190,375	191,172
その他	1,334,590	1,131,491
流動負債合計	5,322,628	5,272,291
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,570,820	2,141,906
リース債務	226,747	237,295
役員退職慰労引当金	346,418	342,018
退職給付引当金	19,006	20,052
資産除去債務	424,548	451,154
その他	526,716	515,478
固定負債合計	4,914,257	4,507,905
負債合計	10,236,886	9,780,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,529,305	4,676,287
自己株式	△751,551	△751,582
株主資本合計	4,946,245	5,093,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,862	△17,423
その他の包括利益累計額合計	△8,862	△17,423
純資産合計	4,937,382	5,075,772
負債純資産合計	15,174,269	14,855,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	20,817,884	21,948,364
売上原価	15,609,443	16,521,712
売上総利益	5,208,441	5,426,652
販売費及び一般管理費	4,863,062	5,061,324
営業利益	345,379	365,328
営業外収益		
受取利息	132	220
受取配当金	7,929	5,530
その他	39,612	54,440
営業外収益合計	47,674	60,191
営業外費用		
支払利息	22,337	23,019
その他	1,655	9,732
営業外費用合計	23,992	32,752
経常利益	369,060	392,767
特別利益		
固定資産売却益	—	19
収用補償金	5,552	—
特別利益合計	5,552	19
特別損失		
固定資産売却損	355	—
固定資産除却損	6,546	18,108
その他	26,463	11,382
特別損失合計	33,365	29,491
税金等調整前四半期純利益	341,247	363,296
法人税、住民税及び事業税	164,044	68,457
法人税等調整額	△9,913	93,714
法人税等合計	154,131	162,172
少数株主損益調整前四半期純利益	187,115	201,123
少数株主利益	—	—
四半期純利益	187,115	201,123



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	187,115	201,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,759	△8,561
その他の包括利益合計	△19,759	△8,561
四半期包括利益	167,356	192,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,356	192,562
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341,247	363,296
減価償却費	290,894	313,509
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,300	△4,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,243	1,045
貸倒引当金の増減額(△は減少)	804	△1,729
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,047	797
受取利息及び受取配当金	△8,061	△5,750
支払利息	22,337	23,019
収用補償金	△5,552	—
固定資産売却損益(△は益)	355	△19
固定資産除却損	3,546	18,108
店舗閉鎖損失	24,815	1,679
賃貸借契約解約損	1,074	5,866
売上債権の増減額(△は増加)	13,236	153,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,356	△4,236
未収入金の増減額(△は増加)	△423	47,675
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△31,954	△27,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△218,117	△180,663
未払消費税等の増減額(△は減少)	45,587	△619
未払費用の増減額(△は減少)	15,767	△2,161
預り保証金の増減額(△は減少)	△11,251	△7,586
その他の流動負債の増減額(△は減少)	19,666	△186,867
その他	32,978	17,841
小計	566,898	524,368
利息及び配当金の受取額	8,062	5,750
利息の支払額	△21,847	△22,292
法人税等の支払額	△170,564	△142,965
収用補償金の受取額	11,500	—
法人税等の還付額	—	249
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,049	365,110

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29,612	△20,513
定期預金の払戻による収入	29,596	28,000
有形固定資産の取得による支出	△365,659	△410,238
有形固定資産の売却による収入	100	—
無形固定資産の取得による支出	△19	△6,491
出資金の払込による支出	△1,821	—
敷金及び保証金の差入による支出	△35,299	△20,096
敷金及び保証金の回収による収入	368	3,334
その他	△6,000	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△408,347</b>	<b>△426,005</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	649,255
リース債務の返済による支出	△40,487	△52,702
長期借入金の返済による支出	△557,314	△670,799
自己株式の取得による支出	△33	△30
配当金の支払額	△53,905	△54,021
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△51,741</b>	<b>△128,297</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△66,039</b>	<b>△189,192</b>
現金及び現金同等物の期首残高	886,482	1,224,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	820,442	1,035,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	14,593,952	3,202,810	2,480,960	279,774	260,386	20,817,884	—	20,817,884
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,138	76,391	—	—	778	79,308	△79,308	—
計	14,596,091	3,279,201	2,480,960	279,774	261,164	20,897,193	△79,308	20,817,884
セグメント利益 又は損失(△)	268,442	209,911	158,666	△77,666	△28,518	530,834	△185,455	345,379

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△185,455千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△196,833千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	15,464,615	3,213,328	2,438,436	543,357	288,626	21,948,364	—	21,948,364
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,493	73,742	—	—	14,160	89,396	△89,396	—
計	15,466,108	3,287,070	2,438,436	543,357	302,787	22,037,761	△89,396	21,948,364
セグメント利益 又は損失(△)	264,951	170,072	132,808	△17,674	△33,770	516,386	△151,058	365,328

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△151,058千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,752千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、第1四半期連結会計期間より、従来「弁当給食事業」に含んでおりました惣菜受託製造の業務を「惣菜製造事業」として新設し、「弁当給食事業」の一部工場で行っておりましたケータリングの業務を「旅館、その他事業」へ報告セグメントを変更しております。

これは、戦略的かつ機動的な配置による業務推進力の強化、事業運営の効率化・迅速化を図り、更なる業容・事業拡大を目指すことを目的とした組織変更を行い、当社グループの経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分を変更し、それに伴い報告セグメントの区分を変更したためであります。

あわせて、「小売事業」、「宅配事業」、「旅館、その他外食事業」を事業内容をより正確に表示するために、それぞれ「スーパーマーケット事業」、「食材宅配事業」、「旅館、その他事業」と報告セグメントの名称を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。